

## 滋賀県がん診療連携協議会・第1回相談支援部会

日時：平成28年6月28日（金）17:00～18:30

場所：県立成人病センター東館1階 講堂

（敬称職名略）

- 【部会長】成人病センター 山内、
- 【副部会長】大津赤十字病院 芥田、市立長浜病院 伏木、
- 【部会員】滋賀医科大学附属病院 木村、  
大津赤十字病院 がん相談支援センター 山本、  
成人病センター がん相談支援センター 岡村、  
公立甲賀病院 がん相談支援部 柴田、  
彦根市立病院 がん相談支援センター 田中、  
市立長浜病院 がん相談支援センター 新川、  
高島市民病院 地域医療連携室 大塚、  
大津市民病院 地域医療連携室 山澤、草津総合病院 吉村、  
済生会滋賀県病院 がん診療支援センター 山田、  
近江八幡市立総合医療センター 地域医療課 嶋田、  
長浜赤十字病院 がん診療支援室 寺村、東近江総合医療センター 長岡、  
滋賀県歯科医師会 柴田、滋賀県薬剤師会 渡邊、  
滋賀県看護協会 西村、滋賀県歯科衛生士会 長谷川、  
滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井、須藤、滋賀県健康医療福祉部 奥井、  
成人病センター 嶋田
- 【事務局】成人病センター 地域医療連携室 柳
- 【欠席部会員】滋賀県医師会 重永
- 【オブザーバー】  
成人病センター 緩和ケアセンター 吉田、  
成人病センター 地域医療連携室 横江、山脇

### 部会長あいさつ

（山内部会長）

今年度より本部会の部会長を務めさせていただきます放射線治療科の山内と申します。皆様のご協力をお願いしたい。部会のメンバーも変わっているので一言ずつ挨拶をお願いしたい。

（自己紹介）

### 2.【審議事項】

#### (1)平成28年度相談支援部会の取組内容および全体スケジュールについて

（事務局）

資料に基づき説明

- ・スケジュールは例年と同じような形で進めていく。

## **(2) 平成 28 年度相談支援部会アクションプランシートについて**

(事務局)

資料に基づき説明

- ・相談シートの標準化検討は現在国立がん研究センターにて集計しやすい仕組みを作成中であり、中間報告の段階である。
- ・希少がん、妊孕性温存情報の提供に関することが新規に加わった。部会での取り組み方を議論する必要があると思われる。
- ・部会、がん相談支援ワーキングとも年 3 回の計画で行う。

## **(3) 相談支援部会 P D C A サイクルについて**

**(イ) がん相談支援センター利用者の満足度調査**

**(ロ) 平成 28 年度がん相談支援センター等がん相談窓口取組実施状況**

(成人病センター)

資料に基づき説明

- ・PDCA サイクルの目標がアンケート調査になっており皆さんの意見を参考に今年度実施いただきたい。
- ・アンケートにより相談支援の参考になる意見もある。自由記載欄で実態が見えてくることもあり、相談支援センターの機能強化、見直しを諮ってほしい。
- ・アンケートを渡すタイミングと回収の方法が難しいと思われる。いい方法があれば提案願いたい。

## **(4) 平成 28 年度相談支援ワーキングについて**

(成人病センター)

資料に基づき説明

- ・相談支援ワーキングは年 3 回で計画をする。各回ある程度テーマを持って有意義な時間になるようにしていきたい。

## **(5) 第 7 回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会の報告**

**(イ) がん相談支援センターの活動における P D C A サイクル確保について**

**(ロ) 大規模災害が起こった際の対応について**

**(ハ) その他**

(成人病センター)

資料に基づき説明

- ・利用者の調査と相談件数のカウント調査について国がんで研究されており今はまだ中間報告の段階である。
- ・今後、国がんが作成しているがん相談シートの様式がアップされる予定である。国がん作成のがん相談シートを利用し全部の拠点・支援病院の実態を把握していけたらと思う。
- ・大規模災害になった場合、どこが中心になっているような情報を集約して問い合わせるところがわか

る機能は絶対に必要である。

- ・起こってから考えるのは間に合わないため一度検討する機会を設けてはどうか。
- ・協議会は医療としてどのような対策を進めていくのかということを議論しているため、災害対策として議論するのは難しい。
- ・がん情報をどういう形で集約していくのか、県庁の防災センターと議論する必要がある。
- ・県でも最小限の仕組みが必要。しかしがん患者だけではないのでそこが問題点となる。
- ・継続して審議を行う。
- ・がん対策推進基本計画と基本法が今後改定される予定である。
- ・行政の動きについて引き続き報告を行う。

### 3. 【報告事項】

#### (1) 平成 27 年度セカンドオピニオン受入紹介状況について

- ・平成 27 年度の調査を行えておらず、次回の部会で報告する。

#### (2) がん相談支援センター等の相談員の資質向上について

- ・がん相談支援センター相談員研修会の開催(平成 28 年 9 月 30 日開催予定)
- ・がん患者就支援研修会の開催(平成 28 年 12 月 9 日開催予定)
- ・事例検討会の開催(平成 29 年 2 月 24 日開催予定)
- ・「地域支援フォーラム in 近畿」について(平成 30 年 2 月 17 日奈良にて開催予定)

(成人病センター)

資料に基づき説明

- ・地域支援フォーラム in 近畿について、実行委員として各都道府県から数名選出時は協力をお願いする。
- ・NPO 法人淡海かいつぶりセンターの相談員資質向上のため、基礎研修①②を受けてもらう。かいつぶりセンターの相談員と相談しながら研修を案内していく。
- ・次回の部会に NPO 法人淡海かいつぶりセンターにオブザーバーとして参加してもらう。

#### (3) 滋賀県がん患者団体連絡協議会の報告事項

(がん患者団体連絡協議会)

資料に基づき説明。

- ・平成 28 年度もピアサポーターを養成する。ふさわしい人を紹介してほしい。
- ・よかったという意見が多数あるなかで、あまりよくないという意見では世話人と参加者とが違う部位のがんであったときに参加者が求めていたこととが得られなかったことがある。

#### (4) 県の報告事項

(県健康医療福祉部)

資料に基づき説明。

- ・がん教育推進事業で、学校や教育委員会より学校の事業に協力依頼があった場合応じていただきた

い。

- ・「がん検診ススメ隊」などの啓発活動を実施して、全体の受診率の向上傾向である。地道な啓発活動の結果であるといえる。
- ・県でのがん検診の受診率をモニタリングする時、市町村の検診だけではなく国民生活基礎調査のデータを用いる。
- ・がん教育推進事業について、小学校・中学校・高等学校の三区分で言うと50%から70%実施されている。
- ・基金団体・民間等自主事業補助金の実績について、患者会が多いが昨年度は図書館協議会がある。
- ・がん患者妊孕性温存治療助成事業について、まだ助成の申請はないが問い合わせは数件ある。

## **(5) 協議会事務局の報告事項**

(協議会事務局)

資料に基づき説明。

- ・10月8日、9日にリレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 滋賀医科大学が開催される。協議会としてブースの出店などの依頼があれば相談支援、がん情報を発信するブースを設置予定である。その時は協力をお願いする。
- ・滋賀県がん医療フォーラムを来年2月4日ピアザ淡海で開催予定。

## **(6) その他**

(滋賀医科大学附属病院)

- ・「遺伝性乳がん卵巣がん症候群」の遺伝カウンセリングと遺伝子検査の他に「遺伝性大腸がん」の「リンチ症候群」に関して遺伝カウンセリングと遺伝子検査の体制が整った。

(県健康医療福祉部)

- ・がんの授業の件について来年度から小中高で義務化される。教育の分野とがん診療分野とのパイプは教育委員会も意識しながら行っている。子供たちへの心理的な面の配慮についてはかなり神経を使い行っている。

(山内部会長)

- ・部会でのメーリングリストを作成させていただきたい。

以上